

製品名: サイクリン E2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85474**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cyclin E2
別名	CCNE2; G1/S-specific cyclin-E2
遺伝子 ID	9134.0
SwissProt ID	O96020
免疫原	ヒトサイクリン E2 の合成ペプチド

背景

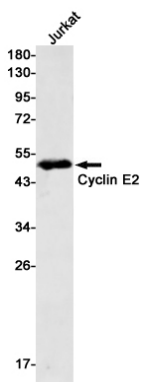
ヒトサイクリン E2 遺伝子は、サイクリン E に最も近縁な 404 アミノ酸からなるタンパク質をコードしています。サイクリン E2

mRNA レベルは G1/S 期遷移時にピークに達します。サイクリン E2 は Cdk2 と結合し、機能的キナーゼ複合体を形成します。この複合体は p27 (Kip1) と p21 (Cip1) の両方によって阻害されます。サイクリン E2/Cdk2 は in vitro でヒストン H1 をリン酸化します。G1 期サイクリン E は CDK2 を活性化することで DNA 合成の開始を制御します。ヒトの癌において、サイクリン E の異常に高い発現レベルが頻繁に観察されています。

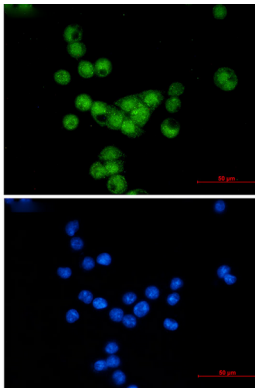
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

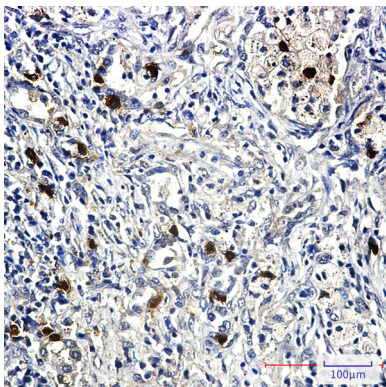
画像データ



Cyclin E2 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Cyclin E2 のウェスタン ブロット分析。



サイクリン E2 抗体と DAPI (青) を用いた MCF-7 中のサイクリン E2 (緑) の免疫細胞化学分析



サイクリン E2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。